

個人山行

## 北八ヶ岳：にゅう 2352m

◆日程 2018年8月19日(日)~20日(月)

◆メンバー L：渡辺 豊

そうだ北八ツ行こう！ テント泊でノンビリやろう！鈍行で行こう！

- 目的 ① テント泊を味わい、星空に夏の大三角形を探す。  
 ② ニュウからの白駒池の形を味わう。  
 ③ 麦草ヒュッテ付近の冬道を確認する。

## 8月19日(日) 天候：晴

**エッ！ビックリ！** 麦草峠でうら若き女性に声をかけられた。驚いた。私が現役のころ新卒で入ってきた女性だ。昨日は白駒荘に泊まったという。澄んだ眼差しと真っすぐな笑顔が昔そのままだった。会えてよかった。山なのに心が波立った。

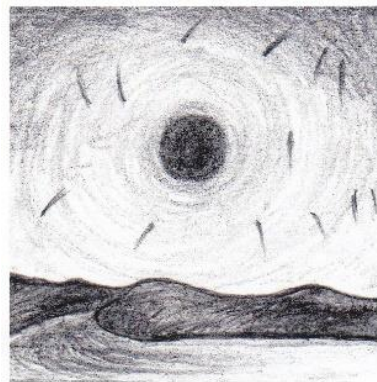
**青苔荘** 青苔荘キャンプ場はこじんまりとして、小ざれいだった。キャンプ一人900円。缶ビール400円。トイレは洋式水洗でものすごく綺麗です。受付の対応もなんとなくおおらか。今回の山行はいい予感がする。白駒池がすぐそこに銀色に光っていた。

CT：自宅 5:00 - 茅野 9:23/9:30 - 麦草峠 10:45/11:00 - 青苔荘キャンプ場 11:50  
 白駒池一周 13:35/14:15

## 8月20日(月) 天候：晴

**涼しい** テントから出ると肌寒いくらいだ。涼しい。登山には絶好のコンディション。この涼しさは今夏はじめてだそうだ。ツイテル。涼しい。

**にゅう** 7時05分。たぶん一番乗り。誰もいない。にゅうからは、富士山、北アルプス、浅間山等360度見渡せる。しかし、にゅうの真価は白駒池の展望台として発揮される。もう一つの展望台は高見石だ。にゅうは高見石より130mほど高く、尖った岩がある。対して高見石は全体になだらかだ。にゅうを兄とすれば、高見石は妹だろう。仲の良い兄妹は静かに白駒池とともにある。その静かな神秘が人の心をひきつける。



**鈍行列車** 往復とも普通列車を利用した。山の景色を堪能したかったが、雲でよく見えなかった。帰りの列車はご婦人と隣り合わせになった。65才だという。一人旅をしていた。しかし、ただの一人旅ではありません。青春18きっぷの一人旅です。青春18きっぷは5回つづりで1セット。残すと無効になる。だけれどもこのご婦人は旅慣れていて、2回分だけ使用できる切符を見せてくれた。金券ショップで必要な回数分の切符が買える。

ふるさとの北海道を懐かしく回想し、次は磐越西線から阿賀野を回ってみたいと語っていた。茅野からずっとしゃべり続けた。あっという間に八王子だ。鈍行列車は速かった。

CT：テン場 4:55 - にゅう 7:05/7:20 - テン場 9:15/9:50 - 麦草峠 10:40/11:05 -  
 茅野 12:15 - 八王子 15:40 - 自宅 17:15